

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長をめざして運用をおこないます。

ファンドの特色

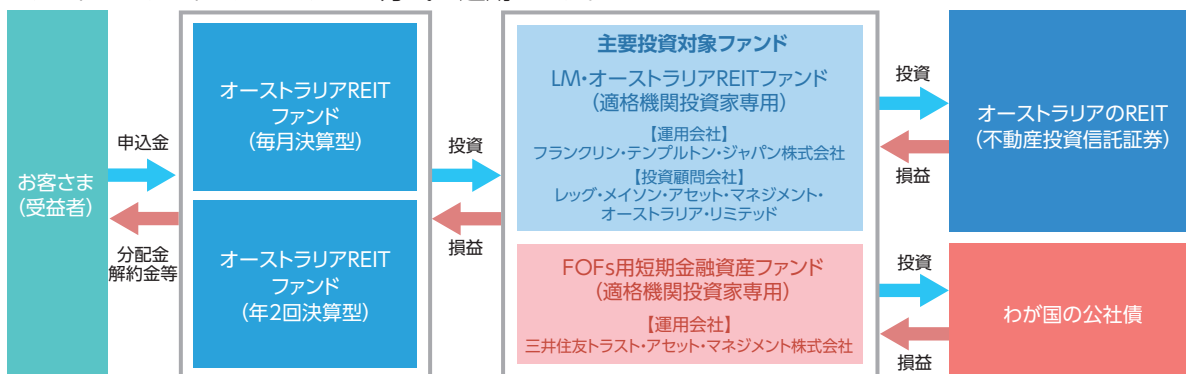
特色
1

主として、オーストラリアのREIT(不動産投資信託証券)に投資します。

- [LM・オーストラリアREITファンド(適格機関投資家専用)](以下「主要投資対象ファンド」)への投資を通じて、主として、オーストラリア証券取引所に上場しているREITに投資します。
- 主要投資対象ファンドの運用はフランクリン・templton・ジャパン株式会社がおこない、実質的な運用はフランクリン・templton・グループのレッグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドがおこないます。
- [FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)]にも投資します。
- 原則として、為替ヘッジはおこないません。

ファンドの仕組み

ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。



※投資対象ファンドの概要につきましては、後掲「追加的記載事項」をご参照ください。



ファンド・オブ・ファンズ方式とは

お客さまからお預かりした資金を、直接株式や債券といった資産に投資するのではなく、株式や債券に投資している複数の投資信託に投資して運用をおこなう仕組みです。

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドについて

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッド

- 経験豊富な運用プロフェッショナルからなるチームがメルボルン拠点で運用。
- オーストラリアREITの運用については20年以上の実績があります。

フランクリン・templton・グループ

- フランクリン・templton・グループは、米国カリフォルニア州サンマテオに本部を置くフランクリン・リソーシズ・インクおよび傘下の子会社で構成される独立系の資産運用会社グループです。世界30ヵ国以上に拠点を有し、複数の資産クラスにおいて約1,300名の投資プロフェッショナルと約1.5兆米ドル(約166兆円)*の運用資産残高を有しています。

- 世界中の個人投資家や機関投資家の皆様に多種多様な運用商品とサービスを提供しています。

※2021年3月末現在。フランクリン・templton、レッグ・メイソン、およびグループ運用子会社の運用資産の総額。2021年3月末現在の為替データをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメントが円換算しています。

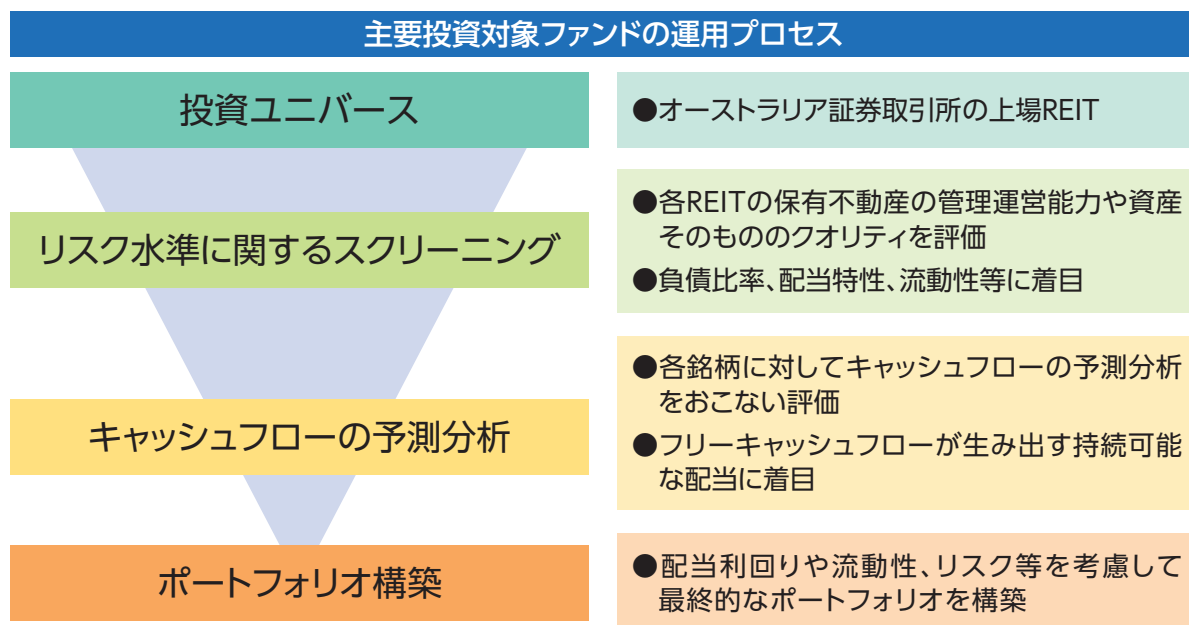
*フランクリン・templton・ジャパン株式会社およびレッグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドは、フランクリン・templton・グループの資産運用会社です。

(出所)フランクリン・templton・ジャパンから入手した2021年6月末現在の情報をもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成

ファンドの目的・特色

特色 2

銘柄選定にあたっては、銘柄毎の収益の成長性・割安度・配当利回り・流動性等を勘案します。



※2021年6月末現在。上記プロセスは、今後変更となる場合があります。

特色 3

決算の時期が異なる2つのタイプから選べます。

- 毎月決算をおこなう「毎月決算型」と年2回決算をおこなう「年2回決算型」があります。

分配方針

- 「毎月決算型」は、原則として毎月14日(休業日の場合は翌営業日)に決算をおこない、収益の分配をめざします。
- 「年2回決算型」は、毎年6月および12月の各14日(休業日の場合は翌営業日)に決算をおこない、分配金額を決定します。
- 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 分配金については、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配をおこなわないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

おもな投資制限

- 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
- 株式への直接投資はおこないません。
- 外貨建資産への直接投資はおこないません。
- デリバティブの直接利用はおこないません。

資金動向、市況動向、信託財産の規模等によっては、前記の運用ができない場合があります。